

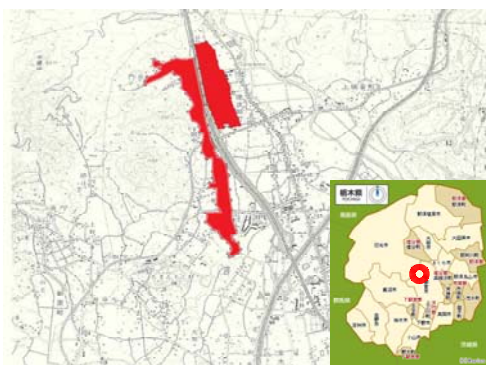
とくじろう 県営圃場整備事業 徳次郎地区（平成21年3月完成）

1. 事業概要

本地区は、宇都宮市の北部に位置し、日光宇都宮道路の両側に開けた沖積平野に広がる水田地帯であり、古くから水稲を中心とした農業が営まれている。

本事業は、不整形で小区画の農地51haについて、区画整理、農業用排水路、農道を整備したものである。

事業名	県営圃場整備事業
事業主体	栃木県
事業箇所	宇都宮市徳次郎町
受益面積	51ha
受益者数	65人
整備内容	整地工 51ha 用水路工 9.4km 排水路工 8.0km 道路工 9.4km
総事業費	10.7億円
事業期間	平成15年度～平成20年度



整備前



整備後



整備された用水路といちごのハウス



整備された排水路



2. 事業の目的・必要性

本地区の農地は区画が狭く不整形であるとともに、道路は狭小で屈曲しており、用排水路が土水路であったため、効率的な営農に支障をきたしていた。

このため、栃木県では、農地の高度利用や営農の効率化、農地利用集積の推進を図ることを目的に、圃場整備事業により、農地の大区画化や、用排水条件の改善を行った。

3. 事業の整備効果等

(1) 事業費等の変化

項目	事業採択時	事業完成時	増減
受益面積	52.7ha	51.0ha	△1.7ha
総事業費	10.2億円	10.7億円	0.5億円
工期	H15~H20	H15~H20	

受益面積が1.7haの減となったが、計画法線の見直しにより道水路延長が増えたため、事業費について0.5億円の増となった。

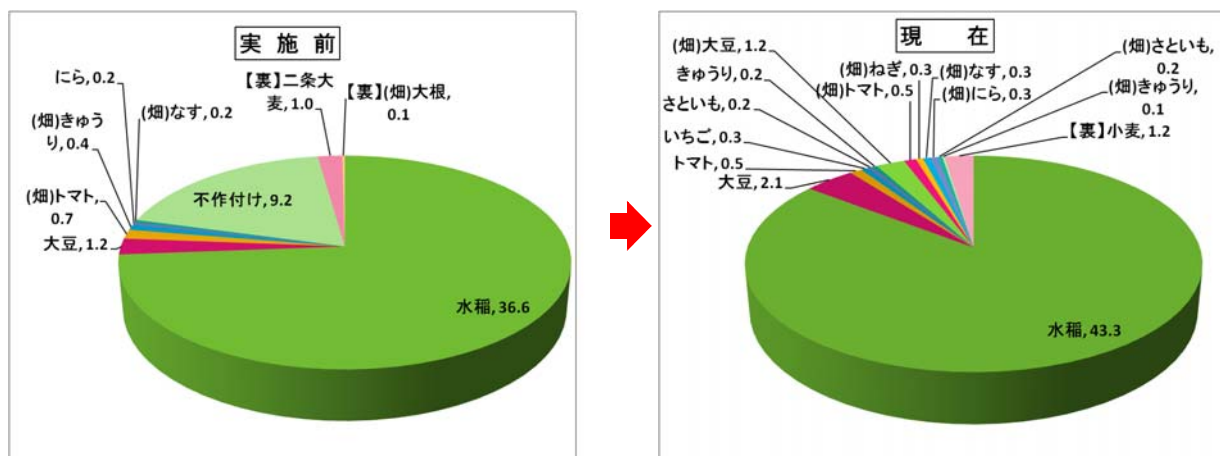
(2) 農地の高度利用

◆農作物の作付け状況

ほ場の乾田化や担い手への集積が進んだことにより、土地利用型作物の小麦や園芸作物のいちごが新たに栽培されるようになった。また、地域ブランド農産物として新里ねぎの栽培に取り組んでおり、販路拡大のため道の駅等へ出荷している。

○耕地利用率 [実施前] 83% ⇨ [現在] 102%

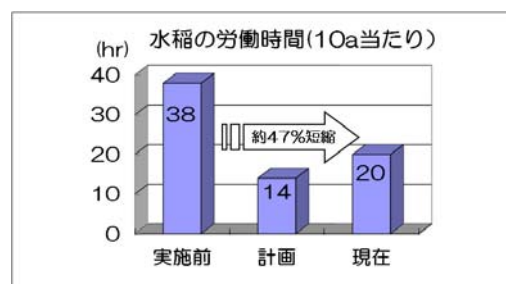
○作物作付状況 (単位: ha)



(3) 営農の効率化

① 農作業に係る労働時間の短縮

農地の大区画化等により、大型機械の導入が可能となり、労働時間が水稲で約47%短縮されている。

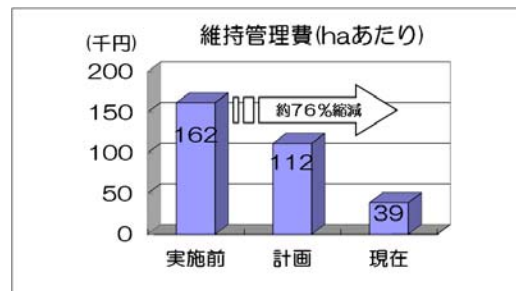


(担い手農家からの聴き取り)

②維持管理の軽減

水路装工、農道整備により水路の掘ざらい・草刈り、道路の草刈り等の維持管理費が軽減された。また、揚水ポンプの統廃合による電気代の節減が図られ、併せて年間約76%軽減されている。

維持管理費：162千円/ha/年間（実施前）
↓
39千円/ha/年間（現在）



(富屋西部土地改良区聞き取り)

(4) 農地利用集積の推進

区画形状や用排水路、農道が整備され営農条件が改善されたことにより、担い手への農地集積が着実に増加しており、担い手の確保育成に寄与している。

	[整備前]		[現在]
地区内経営面積 (ha)	11.4 ha	→	23.0 ha
地区内農地集積率 (%)	22.3 %		45.9 %

4. 事業により整備された施設の管理状況

整備された土地改良施設は、富屋西部土地改良区により適正に管理されている。

農道は宇都宮市が管理するとともに、水路は年2回程度定期的に土地改良区および地先耕作者が草刈り等を行うとともに、非農家も構成員の一委員である農地・水環境保全組織との共同作業による草刈りを実施している。

農地・水環境保全組織による草刈り



農地・水環境保全組織による道路補修



5. 事業実施による環境の変化

地区内にホタルの生息地として生態系保全空間を整備したことで、ホタルの保全に対する意識が高まり近隣の富屋小学校では、ホタルの飼育について学習を行っている。さらには、農地・水環境保全組織による生き物調査やホタルの保全活動をとおして、住民交流の場としても活用されている。

また、ほ場整備により整備した農道は宇都宮市により舗装され、住民の生活利便性も向上している。

生き物調査を学校教育に活用



生態系保全空間での

地域住民との交流(生き物調査)



通学状況



6. 社会経済情勢の変化

特になし

7. 今後の課題等

事業実施により農地が集積され、農作業効率は格段に向上した。今後は、麦・大豆等の土地利用型作物の栽培拡大を図り、農地の一層の利用に向けた支援が必要である。

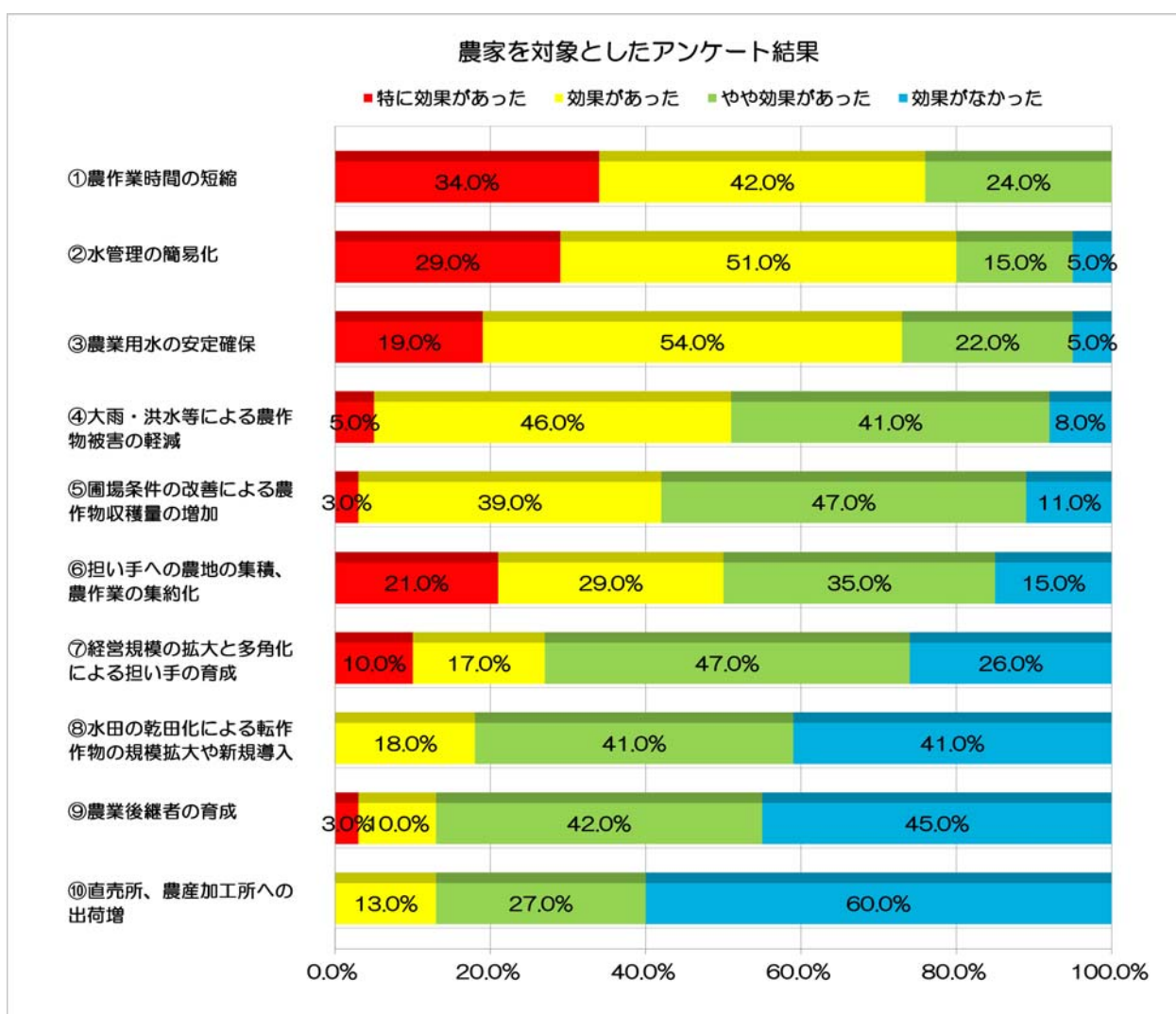
◆ [参考：アンケート調査結果について]

本地区内の農家、非農家を対象に事業実施に対する効果の発現状況について調査を行った。
(配布戸数 73戸 回答 58戸 回答率 79% H26.6実施)

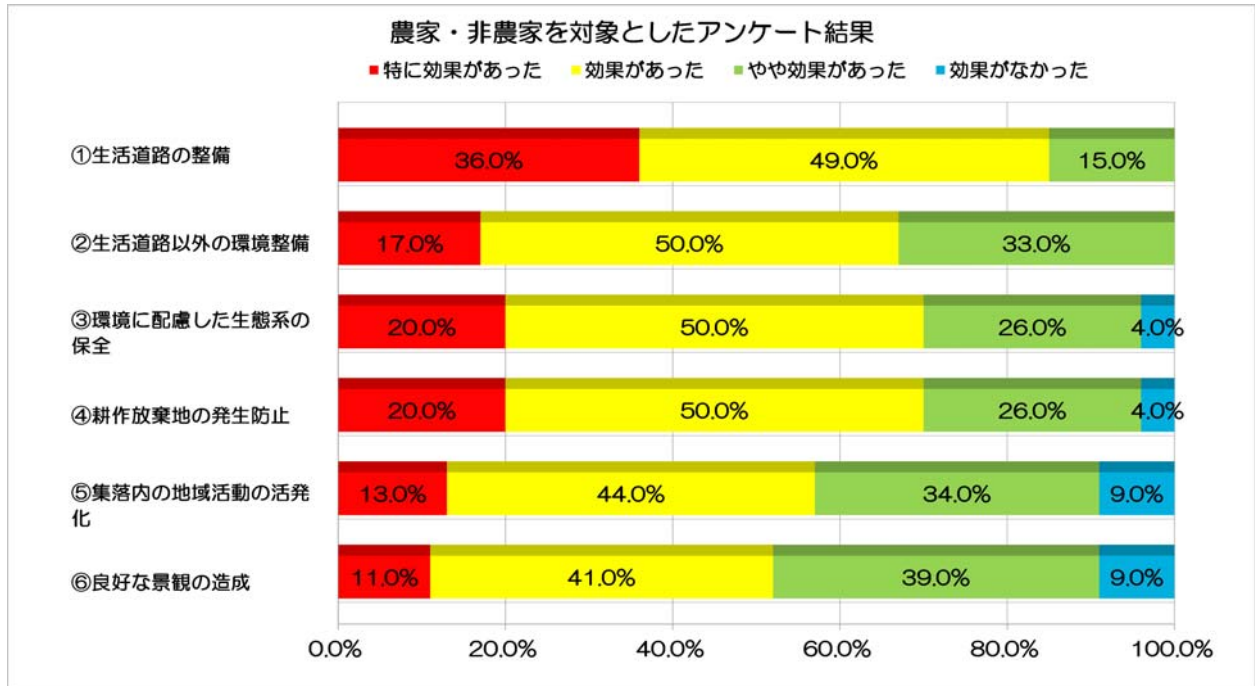
[アンケート結果での地域住民の事業に対する評価]

農家からは特に労働時間の短縮、水管理の簡易化、農業用水の安定確保に対して高評価を得ている。

①農家を対象としたアンケート結果



②農家・非農家を対象としたアンケート結果



③主な意見

【農家】

- ・整備された農道では事故防止の標識・信号が必要である。

【非農家】

特になし

栃木県 農政部 農地整備課

TEL : 028-623-2364 FAX : 028-623-2378

HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g07/index.html>

E-mail : nochi-seibi@pref.tochigi.lg.jp

